

「就職氷河期世代活躍支援ひろしまプラットフォーム事業実施計画」におけるKPI達成状況

1 不安定な就労状態にある方

【KPI】 正規雇用者について、3年間で4,800件以上を目指す。

| | 取組概要 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 |
|---|---|--|--|-------|
| 全体KPI | ○正社員就職件数3年間で4,800件以上 | ○正社員就職件数 2,070件 | ○正社員就職件数 4,747件 (累計) | |
| マッチング・相談による支援 | <労働局> ○就職氷河期世代支援窓口を設置し、チーム支援を実施 ハローワーク広島 (令和2年4月1日設置) ハローワーク広島西条 (令和3年3月1日設置) | ○就職件数2,070人 | ○就職件数2,677人 | |
| | ○氷河期世代を対象とした限定求人・歓迎求人の開拓・確保 | ○限定求人156人 歓迎求人415人 (R1.8~R3.3累計) | ○限定求人273人 歓迎求人1,730人 (R1.8~R4.3累計) | |
| | ○各ハローワークにおけるセミナー・ミニ面接会の開催 | ○開催数273回 参加者数1,157人 | ○開催数442回 参加者数1,807人 | |
| | ○民間委託による成果連動型の教育訓練、職場実習等を実施 | ○支援対象者数28人 就職件数5人 | ○支援対象者数24人 就職件数8人 | |
| | ○民間委託による企業説明会や就職面接会の実施、幅広い周知広報の実施による気運の醸成 | ○Web企業説明会 (R3.2.20) 参加企業数6社 参加者数18人 ○Web企業訪問ツアー (R3.3.6/R3.3.13) 参加企業数4社 参加者数32人 | ○「就職氷河期世代を採用する企業」応援セミナー (R3.7.21) 参加企業数12社 ○ワークショップ&個別相談会 (R3.8.21 広島エリア) 参加者数14人 (R3.9.4 オンライン) 参加者数9人 ○オンライン合同企業面接&説明会 (R3.10.29 広島エリア) 参加企業数15社 参加者数16人 (R3.11.13 福山エリア) 参加予定企業数14社 ※中止 ○トークイベント「働きづらさ、生きづらさ、今ここから語らう」 (R4.2.19) 参加者数98人 | |
| | ○就労体験を通じた業種・職種の理解の推進のための職場実習・体験の実施 | | ○受入可能事業所数10社 参加者数10人 | |
| | <広島県> ○ひろしましごと館における就職支援等 | ○相談件数332件、就職件数26件 | ○相談件数385件、就職件数22件 (うち正規雇用19人) | |
| | ○求人ニーズの掘り起こしとコーディネート機能の強化 (令和3年度から実施) | | ○令和3年6月に「働きたい人全力応援ステーション」を県内2か所に設置。 ・求人開拓件数4,994人 ・求職登録件数593人 (うち就職氷河期世代226人) ・就職決定件数250人 (うち就職氷河期世代83人 (うち正規雇用45人)) | |
| <経済産業局> ○民間事業者による中小企業と就職氷河期世代の者とのマッチ事業の開催 | ○合同企業説明会の開催 (R3.2.6) 参加企業数6社 参加者数23人 | ○合同企業説明会の開催 (R3.10.8) 参加企業数12社 参加者数11人 ○個別相談会 (R3.9.1~R4.2.28累計) 参加企業8社 参加人数8人 就職件数2名 | | |
| <広島市> ○就職氷河期世代等のマッチングの促進 (令和3年度から実施) | | ○令和3年6月に紙屋町シャレオ内に「しごと相談カフェiroha」を設置。 登録者数641名 (うち就職氷河期世代 349人) 就職決定者数157名 (うち就職氷河期世代83人 (うち正規雇用37人)) | | |
| 職業能力開発等に向けた支援 | <労働局> ○短期資格等取得コースを創設し、安定した就労につなげる支援を実施 | ○開講コース3件 | ○開講コース7件 | |
| | ○求職中の非正規雇用労働者の方が働きながら受講しやすい夜間・土日やeラーニング等の訓練の提供 | ○求職者支援訓練短期短時間2コースの設定 | ○求職者支援訓練短期短時間5コースの設定 | |
| | <広島県・機構> ○県立高等技術専門学校及び広島能力開発促進センターにおいて職業訓練を実施 | ○県：施設内開講コース6件 委託先開講コース65件 (広島県内) 機構：施設内訓練コース31件 (うち企業実習付き4件) 設定 | ○県：施設内開講コース6件 委託先開講コース65件 (広島県内) 機構：施設内訓練コース31件 (うち企業実習付き4件) 設定 | |
| 職場定着・企業向けの取組 | <労働局> ○特定求職者雇用開発助成金・トライアル雇用助成金の積極的な活用 | ○特定求職者雇用開発助成金3件・トライアル雇用助成金40件 ※35~44歳の申請件数 | ○特定求職者雇用開発助成金130件・トライアル雇用助成金60件 ※35~44歳の申請件数 | |
| | ○企業内での実習 (OJT) と座学 (OFF-JT) による訓練機会の提供を行うことで非正規から正規社員の転換を促進する「人材開発支援助成金」の要件緩和 | ○人材開発支援助成金 申請16件 計画71件 | ○人材開発支援助成金 申請37件 計画84 | |

「就職氷河期世代活躍支援ひろしまプラットフォーム事業実施計画」におけるKPI達成状況

2 長期にわたり無業の状態にある方

| 【KPI】 求職活動に踏み出すための支援を行い、3年間で就職件数576件以上（サポステ利用者）を目指す。 | | | | |
|--|--|---|---|-------|
| | 取組概要 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 |
| 全体KPI | ○就職件数3年間で576件以上 | ○就職件数 255件 | ○就職件数 548件（累計） | |
| — | <労働局> 地域若者サポートステーション（以下「サポステ」という。） の取組強化 | | | |
| 相談・各種 プログラム 等による支 援 | ○新規登録者数 | ○ 331人 | ○ 368人 | |
| | ○支援対象年齢が49歳までに拡大されたことを踏まえた相談 体制の整備 | ・広報に力を入れ、人生経験豊かな専門スタッフを配置（広島サポステ） ・伴走型の面談の実施、自尊心を尊重する様に専門相談員による対応（北部サポステ） ・サポステ+（プラス）（40～49歳対象）の専用電話を開設し、電話相談の実施、チラシによる周知（ふくやまサポステ） | ・広報に力を入れ、人生経験豊かな専門スタッフを配置（広島サポステ） ・伴走型の面談の実施、自尊心を尊重する様に専門相談員による対応、オンライン相談の実施（北部サポステ） ・サポステ+（プラス）（40～49歳対象）の専用電話を開設し、電話相談の実施、チラシによる周知（ふくやまサポステ） | |
| | ○働く意欲向上等に向けたプログラムの提供 | ・就職氷河期世代を対象としたセミナーの実施（R2.7月・10月）参加者数51人（広島サポステ） ・個別面談強化、パソコン講座、職場見学への誘導、ハローワークとの連携（北部サポステ） ・個別カウンセリング、希望者は既存のセミナーへの参加（ふくやまサポステ） | ・就職氷河期世代を対象としたセミナーの実施（R3.7月）参加者数16人（広島サポステ） ・個別面談強化、パソコン講座、1Dayセミナー、職業訓練参加、職場体験・職場見学への誘導、ハローワークとの連携（北部サポステ） ・個別カウンセリング中心の支援を実施（ふくやまサポステ） | |
| 関係機関へ のアウト リーチ | ○福祉機関等への出張相談の実施 | ・くらしサポートセンター、ひきこもり支援センター等へ訪問及び民生委員の会への参加によるサポステの説明（広島サポステ） ・安佐北区及び安佐南区の総合福祉センターで出張相談会を月1回実施（北部サポステ） ・生活困窮者自立支援窓口等で出張相談が可能な旨広報実施（ふくやまサポステ） | ・くらしサポートセンター、ひきこもり支援センター等へ訪問及び民生委員の会への参加によるサポステの説明、地域包括支援センターへチラシの配布依頼、就労移行支援事業所、リワークセンターとの連携（広島サポステ） ・安佐北区及び安佐南区の総合福祉センターで出張相談会を月1回実施、広島市地域支えあい課・くらしサポートセンター等との連携によるアウトリーチ相談を実施（北部サポステ） ・福山市…生活困窮者自立支援センターが主催するネットワーク会議に参加、尾道市…ひきこもり支援センター立ち上げのための委員会に参加（ふくやまサポステ） | |
| | ○職場体験等の受け入れ先の拡大 | ・スタッフの人脈等により開拓、ユースエール認定企業等へ文書発送による職場体験等の実施依頼（広島サポステ） ・協力企業21社へ職場見学・職場体験の機会について理解を得る（北部サポステ） | ・広島サポステと北部サポステの職場体験・見学の共有 ・スタッフの人脈等により開拓、ユースエール認定企業等へ文書発送による職場体験等の実施依頼（広島サポステ） ・協力企業30社へ職場見学・職場体験・職業人講話の機会について理解を得る（北部サポステ） | |
| 職場体験の 機会の確保 | | | | |
| 職場定着・ ステップ アップ支援 | ○中・長期的なキャリア形成のための資格取得 等技術向上支援に向けた個別相談や懇談会等 の実施 | ・毎週土曜日を「定着ステップアップの日」とし、個別面談及びセミナーを実施（広島サポステ） ・毎月第一土曜日を卒業生の相談日とし、定着・ステップアップの相談会や利用者に対して、卒業生による講話を実施（北部サポステ） ・定着支援に係る相談の実施（ふくやまサポステ） | ・月・金曜日は19時まで開館時間を延ばし、在職中の卒業生が利用しやすい体制の確立（広島サポステ） ・毎月第一土曜日を卒業生の相談日とし、定着・ステップアップの相談会や利用者に対して、卒業生による講話を実施（北部サポステ） ・卒業生講話の実施（ふくやまサポステ） | |
| | ○ひろしま北部地域サポートステーションの事 業規模の拡大（令和3年度） | | ・事業規模が「E」ランクから「D」ランクとなり、学校関係及びハローワークとの連携を強化する。特に県北エリアのハローワーク、社会福祉協議会及び就業・生活支援センターとの連携を強化する。 | |
| その他 | | | | |

「就職氷河期世代活躍支援ひろしまプラットフォーム事業実施計画」におけるKPI達成状況

3 社会参加に向けた支援を必要とする方

| 【KPI】ひきこもり状態の人や家族などの状況に合わせた相談支援体制を整備するとともに、就労準備支援事業（生活困窮者自立支援制度）を全市町で実施する。 | | | | |
|--|---|---|--|-------|
| | 取組概要 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 |
| 全体KPI | ○ひきこもり相談窓口を全市町（23市町）で明確化 ○就労準備支援事業（生活困窮者自立支援制度）を全市町（23市町）で実施 | ○ひきこもり相談窓口明確化市町 データなし ○就労準備支援事業実施市町 8市町 | ○ひきこもり相談窓口明確化市町 12市町 ○就労準備支援事業実施市町 9市町 | |
| 支援対象者の把握・相談支援の充実 | <広島県> ○支援対象者の把握・分析方法の検討 | | | |
| | ○市町における支援体制の充実 居場所づくり、相談体制、アウトリーチ機能を備えた生活困窮者自立相談支援事業等の充実 | ○自立相談支援機関による、「ひきこもり・不登校」に関する新規相談件数 197件 | ○自立相談支援機関による、「ひきこもり・不登校」に関する新規相談件数 168件（2月までの中間速報値） | |
| | ○支援者の資質向上のための研修の実施 | | ○自立相談支援機関の従事者研修を開催 参加者：自立相談支援機関職員・市町職員等（延93名） 開催状況：4回（11/29, 12/20, 1/17, 3/8） | |
| 本人の状況に応じた柔軟な働き方の機会の提供 | <広島県> ○自立相談支援機関による就労支援や就労準備支援等の充実 | | ○未実施の自治体に対し、会議・研修の場で事業の立ち上げについて説明をするなど、各自自治体における就労準備支援事業の完全実施の取組みを促した。（令和3年度9市町⇒令和4年度12市町（予定）） | |
| 地域ネットワークの形成・活用 | <広島県・労働局> ○市町の取組の好事例等の情報収集や情報提供 | | | |
| | <広島県> ○従事者研修の開催 | ○「ひきこもり支援者研修」 テーマ「地域におけるひきこもり支援について」～発達障害との関連等の基礎理解から長期化問題まで～（R3.2.8） 参加状況：参加者数116名（保健所、市町、生活困窮窓口等） | ○「地域の支え合いコーディネート機能強化研修」開催 参加者：市町職員・社協職員等（13市町・67名） 開催状況：全4回（7/26, 8/18, 9/28, 10/22） ※一部Web実施 ○「ひきこもり支援者研修」 テーマ「地域におけるひきこもり支援について」～発達障害との関連等の基礎理解から長期化問題まで～（R3.11.8） 参加状況：参加者数96名（保健所、市町、生活困窮窓口等） ○自立相談支援機関の従事者研修を開催（再掲） 参加者：自立相談支援機関職員・市町職員等（延93名） 開催状況：4回（11/29, 12/20, 1/17, 3/8） （うち、11/29に「機関連携の重要性」、1/17に「社会的孤立を防ぐ（自殺対策）」をテーマに研修を実施） | |
| | ○市町担当者会議の開催 | | | |